

虹ヶ丘新聞

第71号

ホームのようなまち
まちのようなホーム

発行/社会福祉法人 与謝郡福祉会

高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘

編集責任者/石本 晃一

住所: 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3

TEL: 0772-43-2011

E-Mail: nijigaoka@yofuku.or.jp

URL: http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

『虹ヶ丘敬老祝賀式』

新型コロナウイルス感染症対策により、ご面会の制限などご利用者・ご家族の皆さまには数多くのご心配とご迷惑をおかけしております。まだまだ収束の見通しが立たない状況ではありますが、今後も感染防止に万全を期し、安心してご利用できるよう努めたいと思っております。このような状況下ですが

9月27日令和2年度虹ヶ丘敬老祝賀式を開催いたしました。

例年であればご家族やご来賓の皆さまにお越しいただくところ



ですが、今年度はご利用者と職員のみ。また密を避けるために、ケアハウス・特養と部署を分けて式典を行うという、コロナ禍の影響を大きく受けた形となりました。

ただ、形は違えど無事に敬老のお祝いができたことにホッとしながら、また、新型コロナウイルスが収束して来年こそ盛大に敬老のお祝いができますように…

改めて皆さまおめでとうございませう。これからもお元気で過ごしてください。 (相談員)

チューリップの球根植え

例年ならこの時期、職場体験に來られた中学校と一緒に、チューリップの球根植えを行うのですが、今年のご存知の通り、新型コロナウイルスの影響によって、ご入居者と職員でチューリップとパンジー、ガーデンシクラメンを植

えました。初めに少し穴をあけたところに球根を植えるのですが、頭が出ていると「もつと土をかぶせなアカンで」とのアドバ



イスや、「もう少し間をあけた方がいいのかな」と言われたり、真剣な表情で植えておられる方など、少しの時間でしたがご入居者の色々な表情が見られました。

パンジーやガーデンシクラメンを愛でながら、色々な色のチューリップが咲くのを楽しみに、暖かくなる日を待ちたいと思います。その頃にはコロナも収束することを願っています。 (特養)

秋の味覚を収穫!!

秋晴れの澄み

切った青空の下、ユニット前の小さな畑でご入居者と一緒にサツマイモ掘りを行いました。

「よいしょ」「よいしょ!!」「ふう〜」



と汗を拭きながら、力強く土を掘り起こし、笑い声や大きなかけ声が聞こえる中で、大きなものから小さなもので、予想を超える量のサツマイモが収穫できました。

後日、収穫したサツマイモをおやつにして、皆さまからは「甘いな〜」「美味しいわ〜」と大好評でした。今年は屋外に出る機会が

中々作れなかったもので、久しぶりに屋外でのイベントを行なう事ができ嬉しく思います。皆さまの喜んでおられる表情や声を聞く事ができホッとするひと時でした。参加された皆さまありがとうございます。来年も楽しい時間を過ごしましょう。 (東1番組)

お誕生日のラーメン

9月13日(日)、特養西2番組ではその日お誕生日を迎えて96歳になられたご入居者より、「ラーメンが食べたいとの希望を受けて、昼食に岩屋の『山ちゃんラーメン』にきていただき、屋台のラーメンでお祝いました。

出来たてのラーメンが、テーブルに並んだところで、みんなで誕生日の歌をうたい終わると、早速「頂きます!」の声。久しぶりの屋台ラーメンに、皆さま「美味しかったわー」と大好評でした。中には、スープも全て飲み干され完食された方もおられました。「山ちゃんラーメン」の山崎さん、美味しいラーメンを作って下さりありがとうございます。

また次回もよろしくお願ひします!

(西2番組)



リンちゃんのお嫁さん

こんにちは。東2番組です。コロナ禍でなかなかご家族との面会が出来ず、「心配をおかけしていることとありますが、東2番組のご入居者は皆さまお変わりなく過ごされています。いつもご理解、ご協力ありがとうございます。今回は前回紹介しましたリンちゃん（インコ・雄）にお嫁さんが来てくれたので紹介したいと思います。

10月始めに嫁いできてくれたのは、セキセイインコの『ユキちゃん』です。白とブルーのとても綺麗な羽を持ったお上品なインコです。初めは別々のカゴで過ごしていましたが、柵越しに会話をするような仕草が見られたので、わずか2日で一緒に生活をするようになりました。

初めはお互いに警戒してか、距離を感じあまり会話も無かったので「ちょっと早かったかな？」と思いましたが、そんな心配をよそに、徐々に距離を縮



め、今では身体を寄せ合い仲良く暮らしています。時々ケンカもしていますが見ていてほっこりするぐらい夫婦仲は円満です。リンちゃんとユキちゃんの成長を、ご入居者の皆さまと一緒にみんなで見守りながら、いつか新しい家族が増える日を心待ちにしている今日この頃です。（東2番組）

季節外れ？花火大会

コロナ禍でなかなか行事ができない中、シヨートのご利用者に楽しんでいただこうと思い、9月に花火大会を行いました。大きな打ち上げ花火はできま



せんが、職員と一緒に手持ち花火をして、皆さまからは花火を見て「綺麗だな」と言っていたきました。

花火が終わるとアイスクリームを食べ、皆さま童心に返ったような笑顔を見せてくださいました。一夜限りでしたが、楽しい一時を

過ごしていただくことができたのではないかと思えます。またいつも通り様々な行事が行えるよう、早く新型コロナウイルスが収束するように願っています。（シヨトステイ）

デイサービスの夏祭り！

8月の終わりに一週間、デイサービスでは夏祭りを開催しました。今年はコロナ禍と言う事もあり、デイサービスでもなかなか通常の行事はできにくい状態ですが、ご利用者の笑顔がこぼれる、楽しい時間を過ごしていただけるようにと感染予防に努めながら行いました。

今回は『竹取物語』を現代バージョンで再現しました。ご利用者と職員一緒に、

1か月前から小道具作りを始め、かぐや姫が出てくる竹や、竹を切る為の斧、月に帰る為のロケットなど様々な物を準備して当日を迎えました。かぐや姫を取り合う若者たちが、自分を選んでもらえようにとダンスや歌、笛など様々な芸



を考えて披露しました。結局は誰も選ばれないのですが、とてもいい笑顔で楽しんで頂ける様子が見られ、職員一同とても嬉しく思っています。職員も芸に磨きがかかり、年々パワーを増しています。劇の後は、涼しく感じてもらえるようにフルーツポンチを作りました。

まだしばらくはコロナ禍で油断できない状態ですが、感染対策をしっかりとして、この状況でも出来る事を皆で考え、今後もデイサービスに來ると元氣が出る！と言っていただけのような行事や、日頃の過ごし方を考えて頑張ります。普段どのように過ごしているのだらうと思う事がありましたら、いつでも職員にお尋ねください。（デイサービス）

